

【2026年版 AI-OCR サービス導入に関するアンケート調査】スターティアレイズ調べ

OCR 導入企業のうち AI-OCR を導入している企業は 47.32%で最多



スターティアホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役：本郷秀之、証券コード：3393）の連結子会社でバックオフィス DX 支援事業を手掛けるスターティアレイズ株式会社（本社：東京都、代表取締役：鈴木健太）は、国内企業を対象に「AI-OCR サービス導入に関するアンケート調査」を実施し、その結果をまとめた調査レポートを公開しました。

調査サマリー

- OCR 導入企業のうち、AI-OCR を導入している企業は 47.32%で最多
- AI-OCR 導入企業の約 8 割が「認識精度に満足」と回答
- 主な導入目的は「作業効率向上」「電子化・ペーパーレス化」「手入力の自動化」
- 利用部門は総務・営業・人事・経理などバックオフィス部門が中心
- AI-OCR で処理している帳票は「注文書・発注書」「請求書」「領収書」が上位

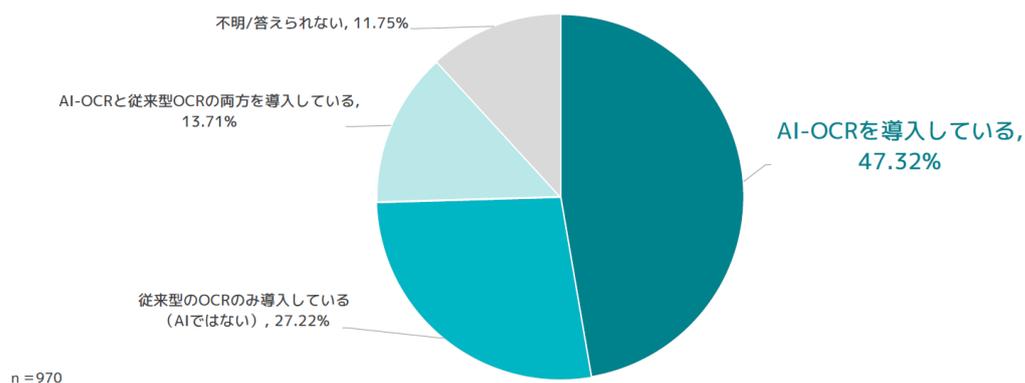
<報道関係の方からのお問い合わせ先>

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部 MAIL : release@startiaholdings.com

調査概要

調査名	AI-OCR サービス導入に関するアンケート調査
調査方法	インターネットリサーチ (実査委託先：株式会社ジャストシステム)
実施期間	2025年12月11日～2026年1月11日
調査対象	一般企業勤務者12,722人を対象にアンケートを実施し、そのうちAI-OCRを導入していると回答した507人の回答を集計・分析
調査実施	スターティアレイズ株式会社

OCR 導入企業のうち AI-OCR を導入している企業は 47.32%



OCR または AI-OCR を現在導入している企業を対象に、OCR サービスの導入状況を確認したところ、「AI-OCR を導入している」と回答した割合は 47.32%で最も多い結果となりました。

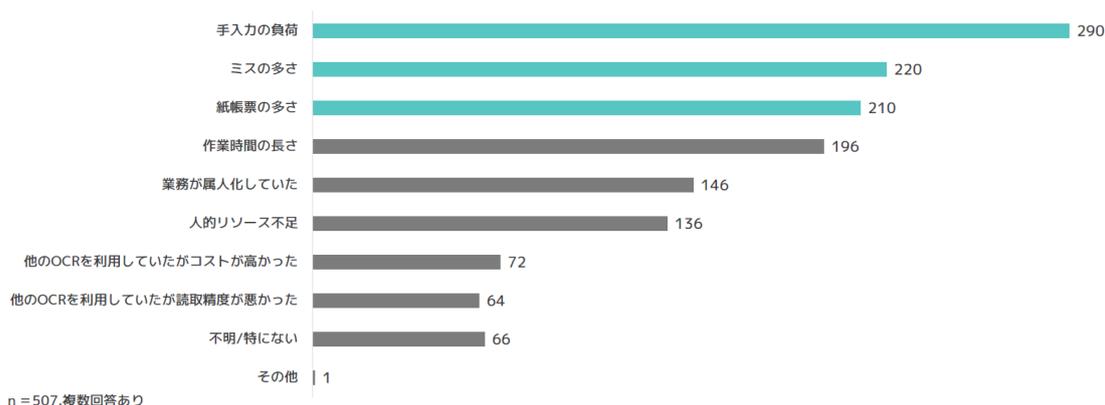
一方で、「従来型 OCR のみ導入している (AI ではない)」は 27.22%、「AI-OCR と従来型 OCR の両方を導入している」は 13.71%となりました。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部 MAIL : release@startiaholdings.com

これらの結果から、OCRを導入している企業の中では、AI-OCRを活用する企業が一定割合を占めており、AI技術を活用したOCRの導入が進んでいることが分かります。

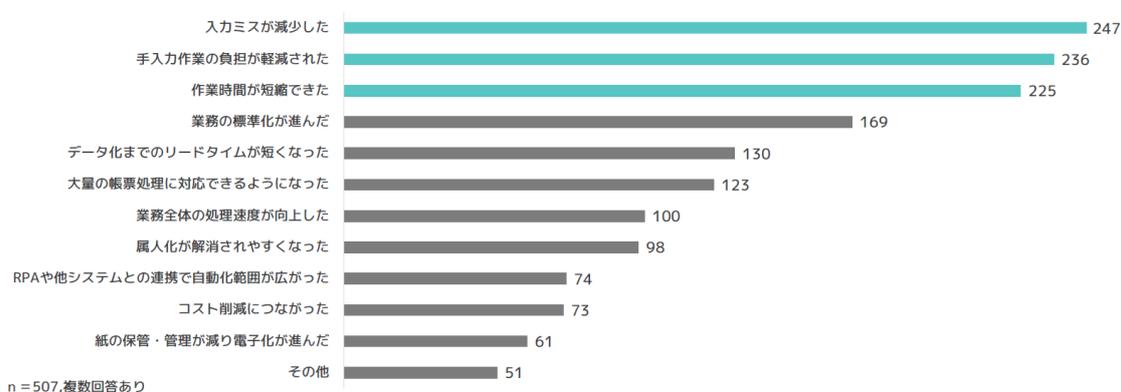
AI-OCR 導入の背景：「手入力の負荷」「ミスの多さ」が主な課題



AI-OCR 導入前の帳票処理や入力業務の課題としては、「手入力の負荷」が 290 件で最も多く、次いで「ミスの多さ」が 220 件、「紙帳票の多さ」が 210 件、「作業時間の長さ」が 196 件となりました。

手作業による入力業務の負担や効率面の課題が、AI-OCR 導入の大きな要因となっていることが分かります。

AI-OCR 導入後の成果：「入力ミス削減」「作業時間短縮」



AI-OCR 導入後の成果としては、「入力ミスが減少した」が 247 件で最も多く、次いで「手入力作業の負担が軽減された」が 236 件、「作業時間が短縮できた」が 225 件と

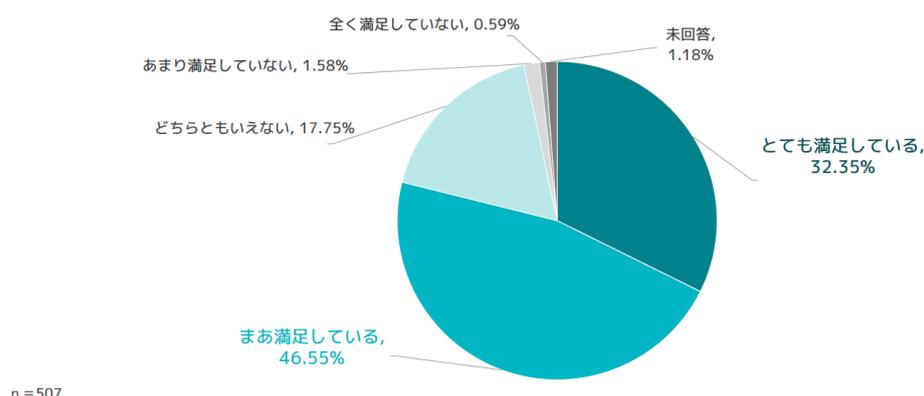
<報道関係の方からのお問い合わせ先>

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部 MAIL : release@startiaholdings.com

なりました。

帳票入力業務の効率化や人的ミスの削減など、業務改善効果を感じている企業が多いことが分かります。

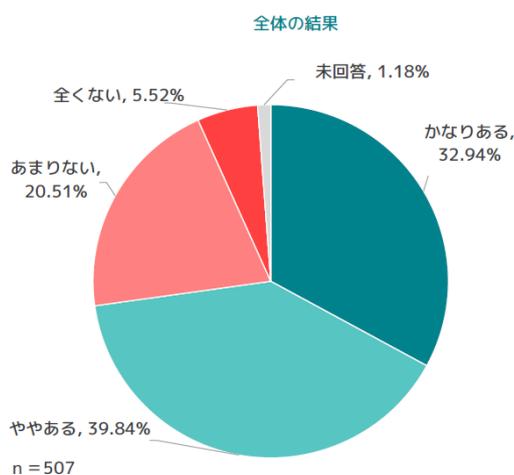
AI-OCR の認識精度：約 8 割が満足と回答



AI-OCR の認識精度の満足度については、「とても満足している」が 32.35%、「まあ満足している」が 46.55%となり、合計で約 8 割の企業が満足している結果となりました。

AI-OCR の文字認識技術は、多くの企業で一定の評価を得ていることが分かります。

一方で約 7 割が導入後の課題を実感



AI-OCR 導入後の課題については、「ややある」が 39.84%、「かなりある」が 32.94%となり、約 7 割の企業が何らかの課題を感じている結果となりました。

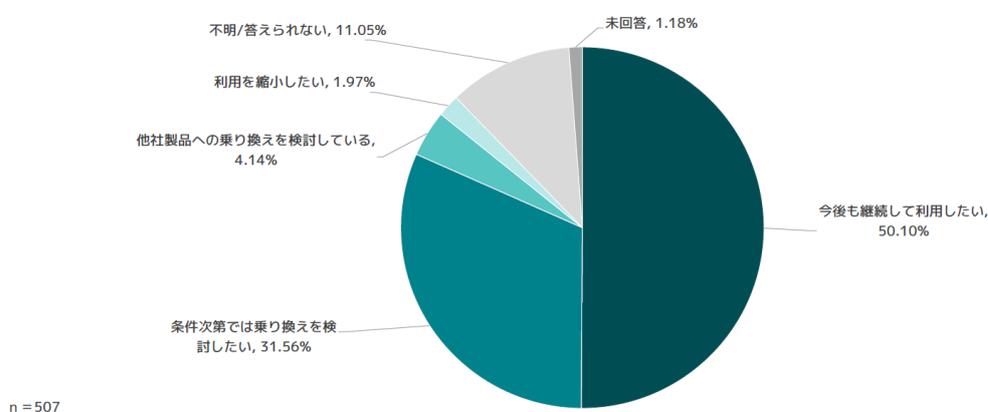
<報道関係の方からのお問い合わせ先>

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部 MAIL : release@startiaholdings.com

主な課題としては「文字認識の精度が十分でない」「多様な帳票レイアウトに対応できない」「確認・修正作業が残り手間が減らない」などが挙げられています。

認識精度に満足している企業が多い一方で、運用面や帳票対応などの課題を感じている企業も一定数存在することが明らかになりました。

AI-OCR の継続意向、約半数が「今後も継続して利用したい」と回答



AI-OCR の今後の利用については、「今後も継続して利用したい」と回答した企業が 50.10%で最も多い結果となりました。

また、「条件次第では乗り換えを検討したい」と回答した企業も 31.56%となり、AI-OCR の活用は今後も続く一方で、より精度や機能の高いサービスへの関心も一定程度あることが分かりました。

■ [「\[2026年版\] AI-OCR サービス導入に関するアンケート調査結果レポート」の無料ダウンロード](#)

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部 MAIL : release@startiaholdings.com

■スターティアレイズ株式会社について

スターティアレイズは国内労働力減少を社会課題と捉え、労働生産性の向上対策として RPA『RoboTANGO』や iPaaS『JENKA』の業務効率化ツールを中心に展開しています。PC 作業の自動化とクラウドサービスの連携を通じて、データ処理や情報共有を効率化し、企業の業務改善と DX 推進に貢献しています。

【会社概要】

会社名 : スターティアレイズ株式会社
所在地 : 東京都新宿区西新宿 2-3-1 新宿モノリス 19 階
代表者 : 代表取締役社長 鈴木健太
資本金 : 9,000 万円
設立 : 2017 年 11 月 10 日
事業内容 : バックオフィス DX 支援事業
HP : <https://www.startiaraise.co.jp/>



■スターティアホールディングス株式会社について

スターティアホールディングスグループは、DX ソリューション(事業会社:クラウドサーカス株式会社)と IT インフラ(事業会社:スターティア株式会社等)を通じ、中小企業のデジタルシフトを進めていきます。「最先端を、人間らしく。」をコーポレートスローガンに、デジタル技術やサービスを、分かりやすく寄り添って提供します。

会社名 : スターティアホールディングス株式会社
所在地 : 東京都新宿区西新宿 2 - 3 - 1 新宿モノリス 19 階
代表者 : 代表取締役社長 本郷秀之
資本金 : 824,315 千円
設立 : 1996 年 2 月 21 日
上場取引所 : 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード : 3393)
事業内容 : グループ会社の経営管理等
HP : <https://www.startiaholdings.com/>



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

スターティアホールディングス株式会社広報 IR 部 MAIL : release@startiaholdings.com